

あきやま子どもクリニックニュース2019年12月号



今年も残すところ1か月となりました。今年には母子保健に貢献をしたということで、厚生労働大臣賞をいただきました。光栄なことでした。この地域で子ども達と向かい合って診療ができることに感謝しています。

来年も心新たに頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

院長より

「20歳までのメモリー健診」



現行の制度では、乳幼児健診は3歳までで、就学健診まで健診はありません。当院では5歳児健診を取り入れています。その間やその後に、子ども達がうまく育っているのか、これからうまく育つには何を気をつけておけばいいのかを一緒に考える健診を行いたいと思います。

20歳まで毎年、あるいは節目で健診を受けてみてはいかがでしょうか。また、20歳までの母子手帳も用意しましたのでご利用ください。

詳細は受付にお問い合わせください。

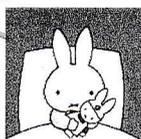


Mama&Baby

利用者さんたちとの会話の中で、お宮参りやお食い初めの話題がたびたび出てきます。それぞれの行事には、赤ちゃんの無事を神様に感謝し、健やかな成長を願う意味が込められています。正式には生後〇日目などがありますが、今は季節や家族の集まりやすい時などを考えて行うことが多いです。やり方も、氏神様にお参りする、家族集まってお食事会をする、写真だけ取る、などそれぞれですが、赤ちゃんの健やかな成長を願う気持ちは皆同じです。笑顔あふれる一日になるといいですね。

(文責 酒井敏恵)

病児保育室便り



病児保育室を利用するお子さんは、普段と違う保育園や幼稚園に通っているのが初めて会うお子さん同士が多くなります。時々同じ園、同じクラスのお子さん同士が利用する事があります。知っているお友達がいることで安心し、知っているお友達がいらない時とは違う姿が見られる事があります。

それは大きい子はもちろん、1、2歳時のお子さんでも見られます。4、5月頃には、まだ場所が変わるとお友達が認識できていませんでしたが、最近は認識ができるようになり、いる事に気づいた時に「あっ！」と笑顔になり、指で示してスタッフにいる事を教えてくれます。成長を感じると共にとてもかわいい姿です。

(文責 千葉美香)



最近の流行っている病気

インフルエンザAが流行していますが、少し緩やかになっています。ノロウイルスによる嘔吐下痢症が大流行中です。また、高熱が上がったり下がったりする風邪も多くみられます。咳が長引くマイコプラズマ感染もあります。

感染症として、手足口病、突発性発疹、水痘、溶連菌感染症、おたふくかぜ、プール熱があります。

訪問看護ステーション

先日研修で、障害者の自立について、障害を持つ方の講演を聞いてきました。何もかもが自分でできるのが自立ではなく、たくさんの方の支援を受けて、その人らしく社会の中で生きていけることと、おっしゃっていました。その方が幼稚園くらいの頃には他の子に比べてできないことが多いから、リハビリなど頑張ってみんなに追いつかなければいけないと感じていたそうです。出来ないことを受け入れ、社会の支援を使うようになってから、自分らしく生活していると明るく話されていました。

(文責 梅田可愛)

インフルエンザ予防接種

接種は1月末まで行いえます。予約については、ホームページをご覧ください。

かかりつけ医にされている方は会員用ホームページをご利用ください。



今月の代診と休診

11日(水) 午後診療 宗像先生
16日(月) 午後診療 宗像先生
18日(水) 午後診療 宗像先生
木曜日の早朝・午前診療は濱野先生です。
木曜日の午後診療は宗像先生です。

年末年始は12月29日～1月5日までです。
1月6日から通常通りです。

